
すばる文学賞物語

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すばる文学賞物語

【Nコード】

N4159Q

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

エロくないけど、ちよいと反社会的ゆえ一応15禁としました。もう少し書き足して、10枚くらいにするかも

（前書き）

前書き定食味噌汁付

すばる文学賞の×切まであと二ヶ月。間に合うだろうか。間に合わないとまた一年待たないといけないので頑張るしかない。

豆大福義雄は、バス停でバスを待っていた。午後七時四十分。八時半から塾のバイトである。一時間しか授業がない。時給千円。バス代が往復五百円。つまり、時給五百円。何のために出勤しようとしているのか意味不明である。

義雄は待つてる間、ケータイをぼちぼちいじっていた。無論、執筆だ。

という段に、着信メール。

梨花ちゃんである。梨花ちゃんは塾の生徒で小学五年生。すでに付き合って三年である。

無論、児童ゆえにセックスをしたことはないが。

メールを見ると、梨花ちゃんがエッチな店で働くかどうか悩んでいるという。

梨花ちゃんの家はお父さんが交通事故で他界してから家計がごつつかしいらしい。

エッチな店といっても児童専門の風俗店ゆえにフェラチオやセックスはなく、ただ水着を来て個室で客とおしゃべりをするだけらしい。義雄はそれだけでも何かいやだなあと思う。自分の彼女の水着姿が親父に見られるだけで不愉快だ。

しかし、貧困の問題がある……義雄は非正規労働者ゆえに援助できないし。

義雄は、まだちょっと待ちなさいとメールした。ちょうど、バスが来た。

（後書き）

後書き県西後書き市出身の後書き一郎は、ポルノ男優。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4159q/>

すばる文学賞物語

2011年1月28日09時05分発行